



じんけんしんがい おじかく しゃかい 人権侵害に無自覚な社会

かいりじ とみた ただかず
ちいろば会理事 富田 忠一

10月13日から14日「ピープルファースト大会in大阪」が開催されました。今年は「日本から入所施設をなくす!」をテーマに掲げ、ニュージーランド、カナダ、スウェーデンから知的障害者の当事者活動のリーダーを招いて、各国で入所施設を如何にして無くしてきたのか、また、入所施設が復活することのないように今も闘い続けている実践を報告していただきました。知的障害者としてはじめて国連の障害者委員会の委員に選ばれたニュージーランドのサー・ロバート・マーティンさんは、「施設で暮らすことで人は傷つけられます。その傷は一生続きます。…そこで、わたしは人ではありませんでした。」と自身が入所施設で暮らした経験から入所施設での暮らしがどれだけ、障害者の人権を侵害しているのか、入所施設での暮らしが障害者の自尊心をどれだけ奪ってしまうのか、障害者が施設ではなく、地域社会で暮らすことがどれだけ大切なことなのかを語っていただきました。

11月1日 旧優生保護法のもとで障害などを理由に不妊手術を強制された人たちが国に賠償を求めている裁判について、最高裁判所は15人の裁判官全員による大法廷で審理することを決め、統一判断が示されることになったとの報道がありました。1948年から1996年まで続いた旧優生保護法のもとで、本人の同意なく、約1万6000人もの人たちが障害などを理由に不妊手術を強制されました。札幌、仙台、東京、大阪の高等裁判所の判決では、「旧優生保護法が憲法に違反して基本的人権を侵害していた」ということは認めたものの、国の賠償責任については、仙台高裁が手術から20年以上が経過し、「除斥期間」が過ぎたとして訴えを退けています。

11月2日 神奈川県厚木市愛名の県立知的障害者施設「愛名やまゆり園」で職員が入所者に暴行し骨折させたとして、県警厚木署は2日、傷害の疑いで、同施設の職員の男(37)を逮捕され、男は「業務が多忙で瞬間的にいらいらしてしまった」などと供述し、容疑を認めているとの報道がありました。

2012年には障害者虐待防止法が施行され、2014年には障害者の権利条約がわが国でも批准され、2016年には障害者差別解消法が施行されたにもかかわらず、同年7月には「津久井やまゆり園事件」が発生し、今なお、障害者への人権侵害に関する事件や報道は毎日のように続いています。「津久井やまゆり園事件」のようにあまりにもセンセーショナルな事件には、関心を寄せる人たちはあるものの、日常的に発生している障害者への虐待や旧優生保護法の各地での訴訟に興味を示す人はあまりにも少数ではないでしょうか。ましてや、入所施設で障害者がどのような暮らしをしているのか? 障害を理由に本人の意思とは関係なく入所施設で終りのない暮らしを余儀なくされている人たちが未だに12万人も存在することを。わたしたちは自分事には「パワハラだ、〇〇ハラだ」と敏感に反応するものの、他人の人権には、あまりにも無関心であり、障害者だけでなくわたしたちの社会が多くの人々への人権侵害を放置していることにも無自覚であり続けているのではないのでしょうか。わたしも他人事ではなく、自分事として、「一人ひとりが大切にされる社会」を実現できるよう考え行動したいと思います。

あうん こきゅう
～ 阿吽の呼吸で ～

グループホーム 主任 米田 守

毎年の恒例行事である ちいろば旅行が 9 月に開催されました。利用者の方々と一緒に 50 人乗りのバスと 8 人乗りの公用車(トヨタのノア)に乗っての福井県への一泊旅行です。途中 休憩ポイントで高速道路のサービスエリアに到着し、車イスの利用者が使用できる多機能トイレを利用しました。バスから降りてトイレに行くまでにスロープもありスムーズにトイレまで行くことができました。トイレの中には介助用のベットもあり支援者にとっても介助がしやすく利便性も良く安心して利用することができました。またそれ以上に感じたことが 多機能トイレに車イスの利用者と行くとそのドアの前に富田(管理者)が立っていて「今だれも利用してないから」とさりげなくドアを開けて先に待っていて下さっていたことです。先に着いてドアの前に立っていて下さっていたことで限られた休憩時間にも関わらずひとつしかない多機能トイレをスムーズに利用することができました。これこそ阿吽の呼吸! 支援の高さを感じた瞬間でした。

しかしながら現状をみるとほとんどの職員が経験も浅く支援者の半分以上が初任者です。ほとんどの職員が利用者の方たちとの旅行もはじめての経験でまだまだそこまでの気づきや対応もできず自分が担当する利用者の支援だけで精一杯の状況です。

毎年旅行に行くまでに出発から帰るまでのいろいろな場面を想定し職員全体でどのような支援が必要なのか? 全体の会議で確認するなどさまざまな事前準備を何度も繰り返しおこなっていますがどうしても予期せぬことが起こります。いつものちいろば園の中だけの、いつものルーティンの活動の支援とは違い外出先ではさまざまな人や場所、予定の変更も存在します。またいつもの施設内での支援とは違いどうしても一人では支援できないこともあります。そのようなときにどのような対応が必要なのか? それぞれ支援者の力量や連携がためされるのです。

日常でも「こんな場面では〇〇していきましょう」「こんなときは△△しましょう」など職員全体の会議などで職員間で日頃の支援を共有し確認しています。が・・・それでもできていないことも多々あります。職員それぞれの考え方の違いや思いもあると思いますが利用者を思う気持ちはひとつだと信じています。「阿吽の呼吸で」支援し合える職員集団をめざしていきたいです。

—ピープルファースト大会 in大阪— 参加報告

ちいろば園職員 新宮 由士

10月13日、14日ピープルファースト大会が開催されました。今年は大阪が開催地となり、全国からたくさんの参加者が集まりました。その数なんと 1300人を超える数で会場満員の中での開催になりました。ここ数年コロナ禍ということもあり交流会は自粛されていましたが、今年から交流会も復活してみなさん大変盛り上りました。今回は、海外からゲストとして国連の障害者権利委員会で知的障害をもつ当事者としてはじめて委員に選ばれたロバートマーチンさんをはじめ海外勢もたくさん参加され「脱施設化」について話をさせていただきました。毎年参加して感じるのは、皆さんのパワーに圧倒されます。この空気感はピープルファースト大会ならではのいつも感じます。閉会式では来年の開催地が奈良という発表がされました。

ここでちいろば園から参加した利用者のみなさんの感想を紹介します。

・僕はピープルファースト大会に参加して全国の仲間とたくさん写真をとれたことがとてもうれしかったです。大会では、「入所施設をなくそう」と大きな声でみんなと言いました。

今、僕はグループホームで生活しているけど、もし入所施設に入ったら、ちいろば園にいけなくなるし、仕事もできなくなり、工賃ももらえません。家にも帰れません。お母さんやお父さんとも会えなくなるしお小遣いももらえなくなる。大好きなジュースやお菓子、唐揚げ、ラーメン、カレーライスも食べれない。休みの日に電車や自転車に乗ってお出かけできないしDVDやCD、写真集も買えないのは本当に困ります。入所施設になんか絶対入りたくありません。

(斎藤総一郎さん)

・私は、交流会でたくさんの人とお話ししたり、名刺交換できたことがうれしかったです。韓国から来た人とも名刺交換ができました。来年の大会は奈良県なので、絶対参加したいです。

(田口由里子さん)

・二日目、分科会がありました。わたしは「げんきがでるはなし」にでました。

「やさしくしたこと」のテーマのときに緊張したけど勇気をもって手をあげて発表しました。

みんなからたくさんの拍手をもらえてうれしかった。(西田久美子さん)

・初めて、今回ピープルファースト大会に同行させていただきました。お話を聞き、共感できる事について当事者の方々も声をあげていて、本当に自主的で当事者主体そのものでした。

各々名刺交換では、この人と交換しようとか決め、声をかけ名刺交換をしたいことを伝え交換する、積極的でした。私自身、あって間もない人と笑い合えることが難しいので本当にすごいなと感じました。当事者の方々は、人を第一印象で判断したり、自分のものさしで測りもしない、本当に素直に人との関わりを求めて接している。大人になり簡単なようでかなり難易度の高い事を成し遂げておられました。

(ちいろば園職員 窪田直子)

去る、9月28日、パンジーメディア制作の映画「大空へはばたこう～自立への挑戦～」の園内上映会を開催しました。映画を観た職員のうち3人の感想を掲載します。

どんなに障害が重度であろうと障害があろうとなかろうと住み慣れた地域で当たり前の暮らしが保障されるべきだと思います。相模原殺傷事件も入所施設がなければこのような悲惨な事件は起きなかったはずです。事件後に津久井やまゆり園からグループホームに入居された人たち、皮肉にもこのようなかたちで地域での暮らしが実現することになった・・・どうしてなの？と感じます。住み慣れた地域で当たり前の暮らしをすることがどうしてこんなに困難なのか？どうして障がい者の人たちにとって自立を「挑戦」までしなければならぬことなのか？映画をみて我が国の福祉制度及び支援力の至らなさをつくづく感じさせられました。

グループホーム主任 米田 守

映画を観てまず思ったことは、「人生は誰のものなのか？」という根本的なことでした。

本来、人生は人自身のものであるはずです。しかし、障がいがあるということだけで、生まれ育った地域を離れて、入所施設にて暮らす事を余儀なくされ、施設側の都合で食事・入浴・外出をはじめ、すべてのことが決められてしまいます。選択肢が「これしかない」というような環境に置かれ、拒否すれば厳しく注意されたり、自分の人生でありながら、自分で何も選ぶことも決めることもできない。そのつらさが当事者の生の声から伝わってきました。

僕は短い期間ではありましたが、入所施設で働いた経験があります。閉鎖的でまるで時間の流れが止まったような空間。利用者のまるで死んだような目。支援者の言う事を聞かなかつたら、問題行動と見られ、厳しく怒られたり、「余計なことをするな」と言うような職員もいて、もしこんな生活を自分が送るとしたら、絶対に嫌だと思ったことを思い出しました。

映画の後半で、入所施設を出て一人暮らしをされている方の生活の様子が出てきました。その方が入所されていた施設の職員が、生活ぶりを見て「こういうこともできるのか」と驚いていたのが、入所施設の現状を如実に表していると思いました。入所施設では、「危ない事をさせない」「一人だけ特別なことをさせない」「規則やスケジュールを守る」という発想で見ているので、ヘルパーなどの支援を受けながら、地域で生活している様子も想像すらできないのではないかなと思いながら観ていました。自分の好きなものを作って食べたり、趣味を楽しんだり、旅行に出かけるなど、まさに「自分の人生」を自己選択、自己決定するという当たり前の事の大切さ、すばらしさを改めて感じました

ちいろば園職員 山下 淳一

「自立」って自分以外のものの助けなしで物事をやっていくことだと言われてますが、これって障害のない、俗に言う健常者もできているのでしょうか？

私はできていないとはっきり言えます。なぜなら、私は一般的には自立した生活を送っているとされますが、私の生活は、周りの人の助けなくしては成り立たないからです。

だから、障害があるから地域で自立して生活するなんて無理！！なんて理由にはならないのです。そもそも入所施設が存在するから選択肢に並んでしまうのです。

「どうすれば当事者が一人の人間として地域で自分らしく生きられるか」誰もが地域で自分らしく暮らせる社会への熱い思いをパンジーさんの映画から、当事者の生の声を当事者に伝えて頂いたことで、改めて私がやるべきことを考える機会を頂きました。ありがとうございました。

ちいろば園職員 磯道 香織

「グループホームで主体的に過ごしてもらうために」

グループホーム職員 辰己 浩規

グループホームは入居者それぞれの日常生活の場であり、共同生活をする上でのルールはあるものの、基本一人ひとりが望むように過ごしてもらっています。休日は一人でお出かけする人もいれば自分の部屋で好きな DVD を見て過ごす人もいます。まだまだ充分ではないですが出来る範囲の中でそれぞれ思い思いに過ごしてもらっています。

ただ、先程も述べましたがグループホームは日常生活の場でありホテルではありません。基本『自分の事は自分です。』があたり前だと私は思っています。なので本人の代わりに何かをする(代行)という事はしないよう意識しています。それは私自身が知らない間に部屋のそうじや服の整理、休日の予定など勝手に決められたりするのは嫌だからです。支援者だからといって勝手に部屋に入ってあれこれして良い訳ではありません。どうしても本人がいない時に都合で何かする必要がある時は必ず許可を得るようにしています。また、人それぞれいろんな障害特性があるのでそれぞれに合った支援や配慮が必要です。それを考え実行していくのが私たちの仕事だと思います。

では、利用者の方がどうすれば主体的に過ごせるのか？私はまず、『これは自分の事なんだ。』『生活の主人公は私だ』と意識してもらえよう心がけています。『自分の事は自分です。』と言いましたが、何が何でも本人にしてもらうという事ではなく、どうしても一人で出来なければ一緒にする。その時間を共有するようにしています。例えば、洗濯物をたたんで収納するという事がどうしても難しい人もいます。だからといって本人がいない時に支援者がそれらを済ませるのではなく本人がいる時におこなうようにしています。また、支援、工夫があれば一人で出来る人もいます。その人に合った情報伝達の仕方、視覚的にわかりやすくするなど工夫があれば利用者の方が安心して過ごす事ができるグループホームになると思います。それを継続的におこなう事で自信になり主体的な生活に繋がっていくと思います。

グループホームでの余暇活動についても今年度は利用者の方と話し合い一年間の行事を決めました。昨年度までは誕生日会もケーキを食べみんなで歌を歌ってお祝いをしていましたが、今年度からはそれぞれの誕生日会でやりたい事、食べたい物などを聞いて実施しています。これまで、『たこやきが食べたい。』『マクドナルドのハンバーガーが食べたい』などの希望があり、みんなで美味しくいただきました。

今後も利用者の方に寄り添い、安心して過ごせる場を提供できるよう、生活主体者である利用者の方と一緒にグループホームを創っていきたいです。



— ぼくも わたしも みんなが主役 — しゅやく

- 質問① なまえ ねんれい 名前と年齢は？
 質問② いま 今はだれとどこで暮らしていますか。
 質問③ かぞく 家族にまつわるエピソードは？
 質問④ がっこう しゅうろうじだい 学校、就労時代のエピソードは？
 質問⑤ さいきん き 最近気になっていること、興味があることは？

- ① はしちと かつとし さい 橋本 勝寿 51歳です。
 ② ねえ お姉ちゃんと暮らしています。
 ③ さい とし ぼくが 20歳の時にお父さんが亡くなり、
きょねん かあ な 去年お母さんが亡くなりました。それから
ねえ く お姉ちゃんと暮らしています。ゴミを出すのと、
ふろ あら お風呂洗いをするのが、ぼくの役目です。
いま ねえ いろ とこ 今は、お姉ちゃんと色々な所に旅行に行くのが楽しみです。
 ④ ちゅうがっこう しゅうがくりょこう ふ しさん い 中学校の修学旅行で富士山に行ったこと。大きくて、きれいだった。
 ⑤ み テレビを見たり、音楽を聞くのが好きです。
いろ とこ りょこう 色々な所に旅行をしたい。



- ① たかみ りょうへい さい 高見 良平 32歳です。
 ② じっか かあ 実家でお父さん、お母さんと暮らしています。
 ③ う 生まれてからずっと、お父さんに散髪をして
もらっています。とても上手です。半年に 1 回、
にい とつきよう きせい お兄ちゃんが東京から帰省します。お兄ちゃんは、
とてもおしゃべりが好きです。お兄ちゃんは人工
えいせい しごと はなし 衛星のお仕事をしていて、お話をしてくれるのですが、難しくて全然
わかりません。
 ④ じゅぎょう だいす プールの授業が大好きでした。
ちゅうがっこう こうこう しゅうがくりょこう あわじしま い 中学校と高校の修学旅行で淡路島へ行き、とっても楽しかったです。
 ⑤ つき 2かい ふたり いろいろ とこ でんしゃ 月に2回、ガイドさん2人と色々な所へ電車でお出かけして、ランチを
た 食べています。食後のスイーツは楽しみです！



ちいろばクリスマスコンサート 2023

—「ドイツとフランスの^{しゅぎよく}珠玉の^{おんがく}バロック音楽」—^{にちじ}日時 2023^{ねん}年12^{がつ}月16^{にち}日(土)^ど^{かいじょう}開場 14:30 ^{かいえん}開演 15:00^{かいじょう}会場 ^{えん}ちいろば園 ^{ならけんいこまぐんさんごうちょうせやきた}奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14^{えんそうしや}《演奏者》チェンバロ : ^{こうの}河野 ^こまり子フルート : ^{ひらおか}平岡 ^{ようこ}洋子ヴィオラ・ダ・ガンバ : ^{やまもと}山本 ^{めぐみ}萌美

《プログラム》

G.P. テレマン: トリオソナタへ長調(Fl.Vg.Cem)

J.S. バッハ : 平均律クラヴィーア曲集第2巻より(Cem.)

プレリュードとフーガ ニ長調 BWV874

プレリュードとフーガ ニ短調 BWV875

C.P.E. バッハ: フルードとチェンバロのためのソナタ長調(ハンブルガーソナタ)

M.マレ : ヴィオール曲集第1巻より「シャコンヌ」ト長調(Vg.Cem)

F.クープラン : 第20 オルドウルより(Cem.)

J. P. ラモー : コンセールによるクラヴサン曲集より第1番(Cem.Fl.Vg)

★スイーツセット付 チケット ^{つき}大人:1200円 ^{おとな}こども:1000円(小学生以下) ^{えん}★チケットはちいろば園、愛の園幼稚園で予約・販売しています ^{えん} ^{あい} ^{そのようちえん} ^{よやく} ^{はんばい}★お問い合わせ先 ^とちいろば園 ^{えん} Tel 0745-72-1923 ^{さき}★ちいろば園⇄王寺駅北間 ^{えん} ^{おうじえききたかん} ^{そうげい}送迎します。送迎をご希望の方は事前にお申込み下さ ^{そうげい} ^{きぼう} ^{かた} ^{じぜん} ^{もうしこ} ^{くだ}

ごうえんかいひ ちいろばだより 購読料 (2023年8月1日～9月30日)

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。

篠原範子、木村和子、中川朋子、奥口博夫、吉川玲子、レインボークラブ、本田佳子、阪口寿久

いじょう けいしょう りやく
以上 敬称は略させていただきます

2023

ちいろばクリスマスクッキー



しゅるい 2種類のクッキーが入っています

★マカダミアナッツ&チョコチップクッキー

マカダミアナッツがたっぷり入った

とってもリッチなクッキーです。

★ココアクッキー

バンホーテンココアとクーベルチョコを使用した

濃厚なクッキーです。

ふくろ えん
1袋 380円

※紙袋をご希望の方は1枚につき別途20円をいただきます。

紙袋のデザインは写真と異なる場合がございます。

はんばいきかん 販売期間： 11月27日～12月25日 ご予約受付中！！

KSKS ちいろばだより

編集人／ ちいろば会後援会

年6回 頒価 50円

連絡先／ 奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL : 0745-72-1923 FAX : 0745-72-1924

発行人／ 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

二〇〇〇年十二月十二日

第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八)の日発行